

校長室からつぶやき・・・ 「ツイート」新聞



宇美町立宇美南中学校
第52号
文責 校長 熊本 寿美
令和4年2月22日(火)

「感謝と絆の会」伝えたい感謝の思い。

地域への関心や貢献意欲が高まっています。
〔12月 学校生活調査結果から〕

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある【67.1%】（全国43.8%）

地域の行事やボランティア活動に参加したことがある【84.1%】（全国43.7%）

2月21日（月）に、この1年間でお世話になり、ご支援いただいているCSや地域の皆さまをお招きし、「感謝と絆の会」を開催しました。この会は、日々の見守りやCS活動、地域との連携活動でのご支援に感謝の思いを伝え、地域の方々と南中生がつながる機会として毎年実施しています。昨年度はコロナ禍で実施できず、本年度は、2年ぶりの開催となりました。感染症対策を講じての開催で、1学年はリモートでの参加となりましたが、22名の方々にご来校いただき、感謝の思いを伝える貴重な機会となりました。会では、3学年の実行委員が中心となって運営し、スライドによる活動紹介を行った後に、感謝状と花束を渡して感謝の気持ちを伝えました。代表の言葉を述べた坂本苺香さんは、地域の方々の見守りや励ましのおかげで、安心・安全の笑顔での生活ができていることに改めて気づき、地域のために行動できる人になることの思いを伝えました。また、参加者を代表してCS会長の太田猛様から「このような場で、南中生のみなさんから感謝の思いを伝えていただいたことがとてもうれしい。コロナ禍ではあるが、挑戦することを大切に自分の希望や願いを叶えてほしい。」と南中生への温かな励ましの言葉をいただきました。今後も、地域と共にある学校づくりに励み、共に育つ絆を深めていきます。



ふるさとに感謝。「通学路クリーンアップ活動」

南中生徒会では、地域に感謝の思いを伝える活動として「通学路クリーンアップ活動」行っています。初回の活動は、2月15日（火）には、2学年が取り組みました。ビニル手袋と火ばさみで、小さなごみまでも見つけて、懸命に活動していました。生徒たちは、「こんなことでも地域のためになっていることがうれしい。」「小さなことでも地域のためにできることを続けていきたい。」と、自分たちが暮らしている宇美町、いつも通っている通学路のごみを拾う一日のほんのわずかな時間での活動ですが、地域に目を向け、地域に貢献する意欲が高まっています。生徒会が主体となって取り組んでいる活動の価値深さを感じています。今後の活動は、1学年が2月24日（木）、3学年が3月1日（火）に行きます。

2学年「夢実現」講演会 演題「今、何をすべきか ～進路実現に向けて～」

本校では、将来への展望をもって自己実現に向かう「夢実現」プログラムの取組を行っています。2月20日（木）に、九州高等学校の尾関泰生先生を講師にお招きし、2学年「夢実現講演会」を実施しました。無限の可能性を秘めた生徒たちに、1年後の進路実現に向けて、「今、何をすべきか」と題して熱く語っていただきました。高校受験の考え方や高校から見つめる求める中学生像などの話に、真剣に耳を傾けていました。尾関先生の言葉に、A（あたりまえのことを）B（ばかにせず）C（ちゃんとやる）があります。どんなことでも一所懸命になれる姿勢が進路実現の原動力となっていくことを受け止めて、3年生に向けて新たな決意を抱く貴重な学びの機会となりました。



「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり